

舞妓

募集

舞妓さんになって 伝統文化を発信してみませんか？

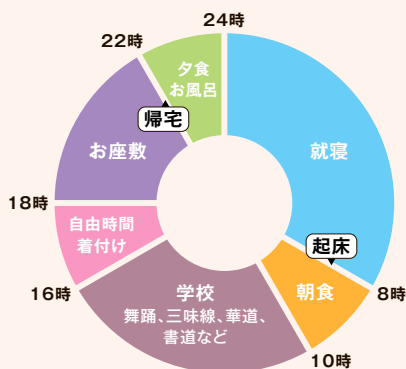
京都で伎芸を磨き、
世界を魅了する

世界から愛される古都、京都の象徴として、その存在が広く知られる舞妓。着物や帯に代表される可憐な装いと、舞や長唄といった伎芸によるもてなしで多くの人を惹きつける舞妓は、わが国の伝統文化の担い手といつても過言ではありません。おおきに財団では、未来の舞妓となる方を随時募集しています。応募者の方には、一年間の「仕込み(修業)」の場となる置屋を紹介いたします。あなたも京都の花街で伎芸を磨き、日本の美意識を世界に伝えてみませんか？



舞妓の一日

朝の起床は、午前8時から10時ごろというのが一般的。朝食の後、10時ごろから午後1時ごろの間に、女紅場や歌舞練場に行き舞踊などの稽古をします。稽古が終わると遅い昼食。自分の置屋に帰って食べたり、同僚の舞妓と外に出かけたりと、その日によっていろいろです。このあと夜6時ごろからのお座敷に出る準備までがフリーの時間。これも前夜のお座敷で遅くなった時には昼寝をして英気を養ったり、本を読んだり、また、稽古のおさらいをしたりと過ごし方は思い思いのよう。お座敷は毎晩のようにあり、床に就くのは午前0時を回ってしまうということもよくあることだそうです。なかなかハードですね。



京の花街文化について、詳しくはこちらへ



随時募集しておりますので、お気軽にご相談ください。

◎お問い合わせ

(公財) 京都伝統伎芸振興財団 (おおきに財団)

TEL.075-561-3901

各花街でも舞妓さんや地方さんの募集をされております。ご参照ください。

舞妓募集



祇園甲部

地方募集



宮川町

宮川町お茶屋組合に
お電話ください。

075-561-1151



先斗町



上七軒



祇園東